

～桜を救う新たな挑戦～

特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」対策プロジェクトを始動！

京阪園芸株式会社(本社:大阪府枚方市、代表取締役社長:酒井勇治)は、近年、関西の桜(サクラ)や梅(ウメ)などに深刻な被害をもたらしている特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」の総合的な防除・対策を行うプロジェクトを2026 年 4 月 1 日より始動いたしました。



桜の花(ソメイヨシノ)



クビアカツヤカミキリの食害跡(フラス)



クビアカツヤカミキリの成虫

本プロジェクトは、関西圏約 20 か所の公園・緑地管理で培ったノウハウを活かし、猛威を振るう「クビアカツヤカミキリ」から地域の桜を守るものです。樹木診断から保全・再生計画の策定、防除、植え替えまで一貫して対応します。

■桜・クビアカツヤカミキリ対策プロジェクト概要

【ご相談から駆除実施までの流れ】

電話・HP フォームからのお問合せ→現地調査・木の診断(調査費+出張交通費)→防除対策のご提案・お見積り
→防除・駆除活動の実施



HP: <https://keihan-engei.co.jp/business/future/>

対応エリア: 大阪・京都・滋賀エリアおよび唐古・鍵遺跡史跡公園周辺エリア

※上記対応エリア外でも対応可能な場合がございますので、お気軽にお問合せください。

運営: 京阪園芸株式会社

桜・クビアカツヤカミキリ対策プロジェクトチーム(京阪園芸クビアカバスターズ)

■クビアカツヤカミキリの防除方法

①樹幹注入(化学的防除)

木の内部に薬剤(リバイブ)を直接注入し対策します。当社は「リバイブ」の京滋地区販売代理店であり、年間を通して(冬期が中心)木の内部に薬剤を注入します。樹内の幼虫や葉を食害する毛虫などの害虫を長期間防ぎます。

②薬剤散布(化学的防除)

成虫の発生期に合わせて木の周辺へ適切に薬剤を散布し、幼虫の段階で対策を行います。

③防除シート(物理的防除)

幹にシートやネットを巻き付け、成虫が木の穴から出てくるのを防ぐとともに、外からの新たな産卵を物理的に妨げます。薬剤をできるだけ使いたくない場所では有効な対策です。

